

静波保育園 【やる気・元気・笑顔いっぱい 静波保育園】



【手作りの竹馬】



【発表会で和太鼓演奏】

学校法人 椋原学園が静波保育園を管理運営するようになって、6年が経ちます。

牧之原市の子どもたちが現在を、未来を、よりよく生きるために今後も、子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指します。

静波保育園では、6月に年長児が、ご家族と一緒に竹馬作りをします。頑張る気持ち・友達を励ましたり応援する心・できなくて悔しい思いとできて嬉しい気持ち。たくさんのお話を吸収して、ご家族の協力もあり、ほとんどの子どもたちが竹馬に乗れるようになります。頑張りメメもすり傷も勲章です。運動会では自信に満ち溢れた笑顔で披露し

ます。

日本の伝統的な文化である和太鼓にも触れます。立ち方・叩き方を知り、「どうしたらいい音が鳴るかな」「友達と心をつなげて演奏すると気持ちいい」等、いろいろ感じて、考えて、夏まつりや発表会には凛々しい姿を見せてくれます。子どもたちが地域の伝統を知って体験できるこの活動を今後も続けていきたいと考えています。

園庭には、大きな木製遊具「ジャングルハウス」があります。

登ったり下ったり、ぐったりして、身体をたくさん使って遊ぶ子どもたちの楽しそうな声が響いています。



【だいすきやまの斜面登り】



【頂上に到着！】

基地」のようで「ここでおやつ食べるか」という子どもたちのかわいい願いも聞こえます。実現したら楽しいでしょうね。

秘密基地を通り抜けぐるっと一周して戻ってくるすることができます。「ぼく5回やったよ」「おれ、10回！」みんな飽きることなく何度も何度も登り降りを繰り返して「足腰が鍛えられること間違いなし」です。幼児期にこのような遊びを体験することはとても大切だと考えています。毎年暑い中奉仕作業で草刈をしてくださる保護者の皆様に感謝しながら今日も斜面登りを楽しんでいます。

あおぞら保育園 【だいすきやまは、た～んのしいよ】

「ヤッホー」「お～い、やぎさ～ん」山の上の方から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。あおぞら保育園には、園庭に隣接して山の斜面があり3歳児になると登り降りして遊ぶことができます。名付けて「だいすきやま」。最大斜度は何と70度ほど。そこを子どもたちは、設置されているロープにつかまったり生えている草を掴んだりしながら足を踏ん張って登ります。一番上まで登ると景色が抜群でいつも散歩に行くやぎ広場のやぎが見えます。もちろん海も見えます。日本の絶景100選に入るのではないかと思う程です。山の上には開けたところがあり「秘密



教育委員会だより

牧之原市教育委員会表彰 表彰式を開催

3月3日(土)牧之原市相良総合センターにおいて、牧之原市教育委員会表彰 表彰式が開催されました。受賞者は次のとおりです。

- 【少年少女ノーベル賞】7個人
- 矢部ひかり (相良小学校6年)
第61回 JA 共済全国小・中学生書道コンクール 条幅の部 文部科学大臣賞
 - 富田幹斗 (相良中学校2年)
第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会 B男子 110メートルハードル 第7位
 - 増田七翔 (相良中学校2年)
Gothia Cup 2017 in Sweden (サッカーゴシアカップ スウェーデン大会) ベスト4
 - 須藤華蓮 (常葉中学校2年)
平成29年度全国中学校体育大会 第48回全国中学校新体操選手権大会 団体 第2位
 - 加藤千聖 (藤枝明誠高校1年)
第11回高校生論文コンクール 特別賞
 - 鈴木翔也 (静岡高校2年)
第48回明治神宮野球大会 ベスト4
 - 村松開人 (静岡高校2年)
第48回明治神宮野球大会 ベスト4

※「牧之原市少年少女ノーベル賞」は、全国レベルで優秀な成績を収めた、20歳未満の方々を表彰しています。
※「牧之原市教育委員会表彰」は、県大会等で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。
※過去に同競技で同じ表彰の受賞歴のある方は対象外です。

- 【教育委員会表彰】15個人
- 近藤由渚 (相良小学校2年)
第67回静岡県席書コンクール 最優秀賞
 - 増田耕大 (相良小学校2年)
第9回学校給食用牛乳普及啓発ポスターコンクール 小学校低学年の部 最優秀賞
 - 中村光祐 (相良小学校3年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
 - 田村彩鳳 (菅山小学校2年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
 - 宮本結愛 (地頭方小学校4年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞

- 増田心暖 (地頭方小学校6年)
平成29年度第34回山崎賞 (児童生徒の部)
- 村松 烈 (勝間田小学校2年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 沢田陽奈 (勝間田小学校6年)
平成29年度第34回山崎賞 (児童生徒の部)
- 高柳春将 (牧之原小学校3年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 福代朝菜 (榛原中学校1年)
第67回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 坂本申悟 (榛原中学校1年)
第67回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 糸田篤紀 (榛原中学校1年)
第15回静岡県ヤングクラブバレーボール大会 兼 第20回全国ヤングバレーボールクラブ 静岡県予選 U-14男子の部 優勝
- 畑 葵 (榛原中学校3年)
第15回静岡県ヤングクラブバレーボール大会 兼 第20回全国ヤングバレーボールクラブ 静岡県予選 U-14女子の部 優勝
- 小倉瑞穂 (榛原中学校3年)
平成29年度静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 山下浩美 (地頭方小学校教員)
平成29年度第34回山崎賞 (教員の部)

【編集後記】

昨年12月に第29号教育委員会だよりを発行した後、一通のFAXが編集委員会に届きました。前号に掲載した市内中学生の主張作文をお読みくださった方から「こんなに自分をしっかり見て周囲のお友達の事を考え未来へ目を向けて生きている子どもたちが牧之原の中にもいることを知り本当に嬉しかったです。(一部抜粋)」とのおほめの言葉をいただきました。

このような優しさに溢れた励ましをいただき、編集委員一同心から感謝しております。ありがとうございます。そして、これからも教育委員会だよりをよろしく願います。編集委員長 澤田 衛

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会 〒421-0592 牧之原市相良 275
電話 53-2642 FAX: 53-2657 E-mail: kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

山崎こども教育賞表彰式が開催されました

公益財団法人山崎こども教育振興財団主催の山崎こども教育賞表彰式が3月3日(土)牧之原市相良総合センター「い〜ら」で開催されました。この賞は、思いやりある行動や日頃の努力が顕著であり、他の模範となる活動を行った小学6年生及び中学3年生の児童生徒を表彰するものです。

受賞者は以下のとおりです。(26個人)

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| ○柿畑 健太 (相良小) | ○向笠 優音 (牧之原小) | ○萩原 由貴 (相良中) | ○鈴木 耕太郎 (榛原中) |
| ○高木 理音 (相良小) | ○山口 莉歩 (川崎小) | ○池村 直樹 (相良中) | ○大石 紗矢香 (榛原中) |
| ○水野 元翔 (相良小) | ○小柴 まい (川崎小) | ○長江 湧雅 (相良中) | ○大河原 菜々 (榛原中) |
| ○川本 海衣 (菅山小) | ○赤坂 颯泰 (細江小) | ○原崎 ひかる (相良中) | ○良知 耕太 (榛原中) |
| ○藤野 妃奈多 (萩間小) | ○落合 陽菜 (細江小) | ○向井 惇 (相良中) | ○山本 祥子 (牧之原中) |
| ○鈴木 ひより (地頭方小) | ○大石 歩武 (勝間田小) | ○柴崎 透馬 (榛原中) | |
| ○増田 結奈 (地頭方小) | ○大関 真宙 (坂部小) | ○大石 麻未 (榛原中) | |

＜主な受賞理由＞

小学生：あいさつ、学校のリーダーとしての活躍、友達やまわりの人への思いやり等
 中学生：生徒会活動、友達やまわりの人への思いやり、リーダーとしての日頃の努力等

*公益財団法人山崎こども教育振興財団は、故山崎貞一氏が平成10年に旧相良町に寄付された3億円を財産に平成17年10月に設立されました。子どもたちの健全育成と理科教育振興の事業を行っています。(故山崎貞一氏)



子ども☆まきのはら塾

小学生のみなさんに、地域の大人がいろいろな体験を指導してくれます。家や学校ではできない「新しい体験」にチャレンジすることは大きな「自信」になります。友達を誘ってぜひ参加してください!!

まきのはら塾の一つ、「おさいほう教室」を紹介します。針と糸を使い、まずは簡単なかわいい小物づくりから挑戦します! 初めての人でも、先生がやさしくわかりやすく指導してくれます。

◇他にもたくさんの塾があるよ◇

- ・囲碁・茶道・コーラス
- ・3B体操・こて絵・英語
- ・能力パズル・絵手紙など

*募集チラシは4月中旬に小学校を通じて配布します。

*教室運営のお手伝いをしてくださる方も随時募集しています。(社会教育課：53-2646)



【おさいほう教室の様子】

市立図書館に204冊の新しい本が入りました!

牧之原市出身、匿名希望の方から寄附のお申込みをいただき、相良・榛原図書館に204冊の新しい本が並びました。離れた土地から、牧之原市の子どもたちや市立図書館を応援してください、寄附は今年で3年目になります。

図書館では、子ども向けの絵本や児童書はもちろん、紙芝居や大型絵本も貸出しをしています。その他、小説や趣味の本など、子どもから大人まで楽しめる本をバランスよく揃えていますのでぜひお気軽にお立ち寄りください。

【場 所】相良図書館：相良保健センター2階
 榛原図書館：榛原文化センター2階

【開館時間】午前9時～午後5時
 (水曜日は、午後7時まで開館)

【休 館 日】月曜日/年末年始/図書整理期間

※祝日の月曜日は開館。
 ※祝日の水曜日は午後5時までの開館。

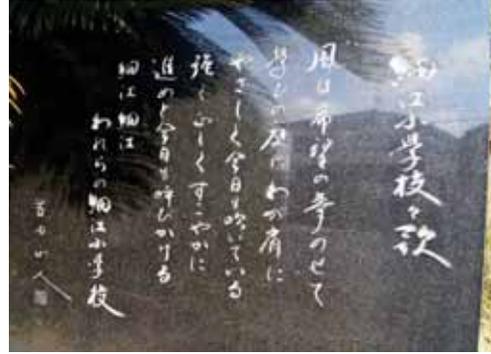
(社会教育課：53-2646)



学校の校歌に歴史あり

～校歌から紐解く学校の歴史～

細江小学校校歌「強く正しくすこやかに」



細江小学校の校歌は、昭和36年12月10日に制定されました。作詞をされたのは、日本音楽著作家連合の重鎮で詩人として活躍された、藤田正人さんです。

昭和46年12月1日に行われた歌碑の除幕式に参加されたときに、「大正4年に入学し、3年間学んだ細江小学校は私の思い出の中にはっきり残っています。満州の小学校に転校した私ですが、最もなつかしい校舎といえば細江小で、10年前に作詞したこの校歌が私がつくった詩のなかでも一番印象に残り、この校歌が児童たちに受け継がれていくことを本当にうれしく思います。」と話されていたそうです。

歌詞にある「強く 正しく すこやかに」は、現在も細江小学校の学校教育目標です。

これからも、地域の願いをしっかりと受け止め、郷土や地域社会の発展を担う子どもたちを育成していきたいと思っています。



ファミサポ会員を募集しています

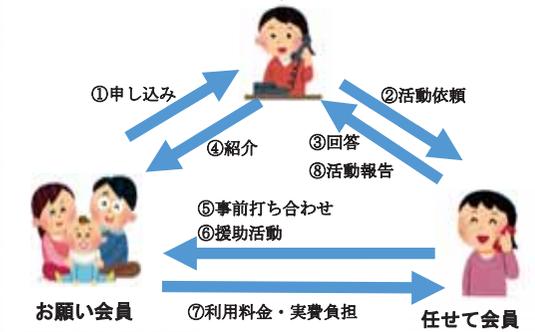
★ファミサポとは? 子育て中の家族が安心して働いたり、安心して育児ができるよう、あらかじめ登録した地域の会員同士が活動するネットワークです。

活動を希望する市民が、**お願い会員**(育児の援助を頼みたい方)、**任せて会員**(援助をしてくれる方)、**両方会員**(お願い会員・任せて会員を兼ねる方)のいずれかに登録し、援助を必要とする方には、センターがコーディネートをして援助をしてくれる方を紹介します。

- ◆登録料・年会費・保険料無料
- ◆ファミリー・サポート・センターにて随時登録可能(所要時間約40分)

- 時間/6:00~22:00(原則) ※宿泊は不可
- 料金/1時間600円~※時間、内容により異なります。
- 助成/ひとり親利用助成制度あり(規定に該当する方)

★活動の流れ(概略図) センター



◆登録をした後、一度利用した事があれば急な依頼にも対応が可能です。(牧之原市ファミリー・サポート・センター：23-0077)

インフォメーション

学校の工事が完了しました!

市内の小中学校において実施していた以下の工事が終了しました。

工事にご理解ご協力いただき、ありがとうございました。

【今年度実施した主な工事】

- トイレ洋式化工事
 - ：相良小学校
 - ：牧之原小学校
- 空調設置工事
 - ：相良中学校
 - ：牧之原中学校
- サブグラウンド機能復旧工事
 - ：相良中学校



(教育総務課：53-2642)

相良小学校 さつらっか屋

相良小学校では、地域のボランティアの皆さんと一緒に2年生がさつまいもを、4年生は落花生を育てました。畑作りからはじめ6月に植え付けて10月に収穫をしました。そして、みんなで収穫の喜びを味わいました。

2年3組と4年3組の児童が、本通り商店街の「ふれあい市」に出店するため、店名を「さつまいも」と「らっかせい」を合わせて「さつらっかや」に決め、値段決めや看板作り、買ってくれた方へのメッセージ作りなど、わくわくしながら準備をしました。

12月15日、「ふれあい市」では、大勢のお客様が訪れ、あっという間に売り切れたので、子どもたちは大喜びし、収穫、販売を通して達成感を感じることができました。

また、4年3組は相良の特産品を生かしたお弁当作りに、2年3組はもう一度「芋切り干し」のお店開きへと活動が広がっています。



静岡県読書推進運動協議会長表彰「平成29年度 優良読書グループ」読み聞かせボランティア「グー・チョコキ・パー」受賞!!

「グー・チョコキ・パー」は平成2年に発足以来、牧之原市内で最も長い27年間に渡って活動を続けています。現在、毎年5月～2月の期間中、8名で市内の保育園・幼稚園7園を巡回しておはなし会を実施しています。活動の中では、「子どもたちに本と郷土を好きになってもらうこと」を一番の目的としているため、おはなし会の中では、必ず市立図書館に所蔵のある絵本を使用すること、昔話や民話を入れることを心掛けています。地域の民話については、おはなしを元にした手作りの紙芝居・パネルシアター等を取り入れ、子どもたちに披露しています。これらの作品は修理をしながら市内で活動する他団体へも貸出しを行い、大切に使用しています。

おはなし会を通して子どもたちの郷土愛を育み、その後の読書活動につなげる工夫を大切に、これからも活動の幅を更に広げていきたいと考えています。

(社会教育課：53-2646)

